

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17102001	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	中近世風俗画の高精細デジタル画像化と絵画史料学的研究	研究代表者 (所属・職)	黒田 日出男（立正大学・文学部・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>中近世風俗画の高精細デジタル画像の作成と高精細ビューワー&lt;Pictionary&gt;の開発という基礎的作業が進み、データベースの構築に関しても着実に研究は進捗していると認められる。デジタル画像の取得に関して、既存フィルム借用も導入し、データ集積を進めた点は現実的な対処として評価できるが、同時に高精細画像が拓く研究視点の可能性という点からは、ケースによっては問題も残ろう。おそらくは、データベース構築とそれによって得られる研究の将来的な可能性の面から、ケースに即してフィルム借用方式導入の可否が検討されていると推測する。その他、高精細画像データ取得に関する諸条件等、これら研究の進捗過程での諸々の試行は、今後のこの種のシステム設計にも裨益する情報であり、本研究の意義もいっそう深まっている。</p> <p>また、専用研究プラットフォーム&lt;Pictionary&gt;の開発から、研究成果公開の目標にむかって、データベース閲覧の一般公開を実現するべく、所蔵館等諸機関との調整が進んでいることも評価できる。高精細画像によるデータベース構築とそこから新たに見出される研究視点、個々の作品の分析・読解のための書誌学的、文献学的な検討など、順調に研究が積み上げられ、研究論文の公刊も期待以上なされている。</p>		

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。
-----------------------